



優秀賞 (総合部門)

タイトル 配色が主張するダイナミズム・空気がつなぐ多様式

タイプ 持家共同建

講評

施主の「旧伯爵邸」というちょっと珍しいキーワードが、全体のプランを強くまとめる力となったのだろう。一見、30代夫婦の趣味性の強い家だが、将来の子ども部屋や配線スペース、ローコスト化への配慮もなされている。

リフォーム前後の写真



リフォーム前

住み手と設計者の共同作業で実現。斬新なアイデアで夢を形にしたコンクリートの中の旧伯爵邸。

④ 梁をそのまま空間に生かしたコンパクトな主寝室。壁、天井はコンクリートの躯体に塗装または合板張り仕上げ。



⑤ 味のある黒色を出すため、壁は針葉樹合板+バーナー焼+OS塗装とした。床はワイルド無垢バイン(着色)。



⑥ 見通しの良いLDK。プロジェクターや照明を取り付けたり配線を隠すため、天井には2×4の構造材を利用した付け梁(ルーバー)を取り付けた。



⑦ リビング奥の和室2室の続き間は、将来の子ども部屋を想定し、奥の部屋だけ仕切れるようにした。



⑧ メンテナンス可能な壁面の造作テレビボード。2×4材を立てて裏側に配線スペースを取った。



① 旧伯爵邸をイメージした内装に合わせ、キッチンも黒を選んだ。



② キッチン内は機能性を追及。収納には、飲料水タンクやゴミ箱をきめ細かく配置した。



③ シックな内装に似合う輸入の洗面ボウルを備えた洗面脱衣室。鏡はゴールドの枠を黒く塗装してイメージに合わせた。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機・要望》

- 30代ファミリーの住まいづくり。親の住まいを譲り受けたので、自分たちの好きなように全面改装して住みたい。
- LDKと寝室、和室、将来の子ども部屋が必要。
- 将来の模様替えのしやすさを考慮したつくりをしたい。
- 室内は独創性のある住まいにすることで、他ではやったことのない実験的なことにも挑戦しながら、味わいのある旧伯爵邸のような空間に仕上げたい。

《リフォームのポイント》

- サニタリーを除く全ての間取り配置を変え、LDKに和室2室の続き間をつなげた。奥の和室は将来の子ども部屋に。
- リビングの一角にキッチンを据え、全体の色調を白と黒でバランス良くまとめた。ダイナミックな旧伯爵邸の味わいを出すため、合板や構造材を焼板仕上げするなどして素材を工夫した。
- テレビや照明の取り付けや配線のためのスペースをとり、メンテナンス性を図りながらインテリアの中に溶け込ませた。

特に配慮した住宅性能：メンテナンス性

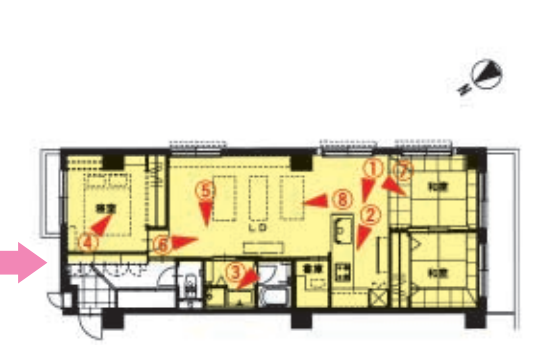
データ		構造/築後年数 鉄骨鉄筋コンクリート 造/ 22 年	
所在地	東京都三鷹市	該当部分工事費	700 万円/総工事費 850 万円
該当工事面積	60 m ² /総工事床面積 79.2 m ²	居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人/65歳以上： 1 人/15歳未満： 1 人/ベッド： 1
設計者	(株)東急アメニックス	担当者	石川 修/森實 直樹(施主)
施工者	同上	担当者	石川 修

リフォーム前



1/150

リフォーム後



1/150